

E Z - W I N競馬予想新聞					24.3.9 (土) 中山11R G3中山牝馬S 芝1800m内A 4上牝馬ハンデ ⁺ 15:45														指数					
間隔	総合評価点数	基礎点数	予想印	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	好走傾向 /馬格	マイニング	対戦型
8	57	42	○	1	栗)タガノパッション	牝6	53	8	C	★	▲		7,1	10,2	7,9	13	90	9	大野拓	武幸四		A/大	8	7
5	55	34	×	2	美)ルージュリナージュ	牝5	53	9	B	△	D	A	11,4	15,1	12,1	5	64	10	丸田恭	宗像義	展	注	14	12
3	34	13	×	3	美)クリノプレミアム	牝7	55.5	12		!		A	7,6	5,10	10,7	7	114	0	松岡正	伊藤伸	R	大	11	11
9	16	16		4	美)キタウイング	牝4	53	15	C	!			12,8	13,12	17,6	0	0	1	杉原誠	小島茂			6	15
8	30	24		5	美)シンリョウカ	牝4	54	7	A				3,12	8,8	7,10	5	64	9	木幡初	竹内正	TR		3	12
3	36	25	×	6	栗)グランスラムアスク	牝5	52	16		!			2,9	4,10	1,14	3	96	1	古川奈	矢作芳	R	大	16	16
4	47	35	◎	7	栗)コンクシェル	牝4	53	6	A	!			2,6	3,13	13,13	20	124	7	岩田望	清水久		注/大	1	4
12	34	19	×	8	美)ヒップホップソウル	牝4	55	5	B		C+		12,4	16,5	4,7	14	35	10	北村宏	木村哲	WT	注/大	4	5
13	51	37	注	9	美)ファンタジア	牝5	51	14	A	注			3,10	4,3	4,2	0	27	1	原優介	堀宣行	R	注/大	5	14
8	39	24	×	10	美)アレグロモデラート	牝5	50	11		注			3,11	8,10	2,4	7	80	9	木幡巧	武井亮		B/大	15	6
8	58	34	▲	11	栗)コスタボニータ	牝5	55	3	C	注		A	4,4	5,3	2,9	33	86	32	西村淳	杉山佳	R	A/大	13	3
12	47	35		12	美)ルージュエクレール	牝5	52	13	A	△			16,3	14,1	5,16	11	99	1	菅原明	萩原清	R	注	9	8
12	74	59	△	13	美)フィアスプライド	牝6	56	2	A			A	4,4	11,1	11,4	56	94	24	C. ル	国枝栄		A/大	2	1
9	40	29	×	14	美)ククナ	牝6	55	1	B	△			9,5	11,8	8,6	44	94	51	戸崎圭	栗田徹		A/大	7	2
8	31	22	★	15	美)フィールシンパシー	牝5	53	10	A	!			6,15	1,13	5,4	12	65	10	横山琉	小島茂	枠		12	8
4	44	29	×	16	栗)ラヴェル	牝4	54	4	C	注		B	6,6	3,13	7,13	24	93	32	横山武	矢作芳	R		10	10

※基礎点数＝「注目血統・調教関連・前走不利・好走傾向等」のデータ入力前時点での評価点数

【馬場の傾向】

弥生賞・中山記念の結果を見て、
今の中山芝は例年と何かが違う・・・と言う違和感を持っておりました。

そこで、関係者の話を聞いてみますと、
単純に「開催序盤で馬場が良いから時計速い、内伸びの前残り」
と言う訳ではない。という事だそうです。

つまり・・・

正月競馬の最終週が大変な不良馬場だったので、
路盤のダメージが回復しておらず、今回開催の開幕週から
3～4コーナーはボロボロなのだそうですね。

そのために、今の中山芝は
「馬によって対応の巧拙がかなり出やすい」
「前が残るといより、後ろからの馬が進んでいけない」
という傾向の馬場になっているそうでございます。

今週も金曜日までの雨の影響が強く、
金曜夜の発表では、芝・ダート共に不良馬場。
土曜日から晴れるようですので、概ね乾くとは思いますが、
路盤の回復望めず、先週までと大差のない馬場になりそう。

開幕からの4日間、メインレース(芝4鞍)で後方待機馬が馬券に絡んだレースは1鞍もなく、中団よりも前で競馬した人気薄が、我が世の春とばかりに穴をあけまくっております。

【人気薄の血統傾向】

今回開催の中山芝メインレースで激走した馬の血統構成で目につくのは、父か母父に米国由来の血統を持っている馬。

※「注目血統」の欄に「！」マークを付けた馬が該当馬。

【中山牝馬Sの過去傾向】

別紙PDFファイル「中山牝馬過去傾向」参照

【予想のコンセプト】

注目血統の欄に「！」が付いている近走先行経験馬で、ハンデが53キロか54キロの大型馬から本命馬を選ぶ。

【予想見解】

◎7番コンクシェル

父:キズナ(ディープ×ストームキャット)

母父:ガリレオ(欧サドラーズ系)

祖母父:マキャベリアン(ミスプロ系)

ディープ系種牡馬産駒で、父か母父がストームバード系を持つ。
と言うのが、今開催中山芝中距離のトレンド血統最上位条件。

父キズナは母父にストームキャットを持つ種牡馬。
本馬自身1800m巧者ですが、兄弟姉妹も1800mで
最多の勝利を上げる1800m一家。荒れ馬場に強いのも特徴です。

能力的に足りるかどうかと言う懸念はありますが、
全姉はG2で3着の実績馬で、母の従弟は英国のG1馬。
牝系のスケールとしてはG3のハンデ戦なら通用しそう。

○1番タガノパッション

父:キングカメハメハ(キングマンボ系)

母父:シンボリクリスエス(ロベルト系)

祖母:種牡馬ステイゴールドの全妹

父が大系統ミスプロ系は当レースの穴血統。
祖母は当レースに相性が良い種牡馬ステイゴールドの全妹。
近親のカラテは中山記念の2着馬。

本馬は上り時計が掛かる馬場や展開に強いタイプで今の馬場なら。

★15番フィールシンパシー

父:ベーカバド(ダンチヒ系)

母父:ダンスインザダーク(Tサンデー系)

祖母父:米フォーティナー(ミスプロ系)

1800m適性を問われやすいマイル重賞ターコイズSの2着馬。

また、父ダンチヒ系と、母父ダンスインザダークの配合馬は
1600mから1800mへの距離延長ローテにおいて
半数が馬券になる得意ローテでもあります。

▲11番コスタボニータ

父:イスラボニータ(Pサンデー系)

母父:ケンドール(欧グレイソヴリン系)

祖母父:米ボールドルーラー系

父がPサンデー系イスラボニータ。

母父ケンドールは仏国のマイルG1を2勝したスプリンター寄りのマイラー。

距離短縮でパフォーマンスが上がる可能性を秘めています。

前走は距離延長をこなして3着。今回は距離短縮。

また、G3クイーンSと当レースは好走馬がリンクする傾向にあります。

兄弟姉妹の得意距離は1800mで、
その成績は【4・5・4・12/25】
勝率16.0% 単回率288%
複率52.0% 複回率163%
このように1800mで穴をあけまくる家族。

短距離指向の血統構成を持つ本馬の、
一家の本領距離である1800mへの距離短縮ローテ。
これは非常に魅力的に映りますな。

注9番ファンタジア
父:ハービンジャー(デインヒル系/ダンチヒ系)
母父シンボリクリスエス(ロベルト系)

母はアーモンドアイの半妹。
ハービンジャー産駒の2200mから1800mへの
距離短縮は複勝率43.8%/複回率150%
この人気なら押さえておきたいと思います。

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券

馬連・ワイド・3連複(3連単)3頭ボックス

1番・11番・13番

くまもん馬券

馬連

7-1・8・9・11・13・15

ワイド

7-1・9・11・15

1・15-1・9・11・15

3連複フォーメーション30点

7-1・11・15-印全頭